

地味でぼつちなクラスメイトに告白したら
相思相愛になってイチャイチャの限りを尽くす生活

「愛し愛され愛し愛

もしもし。私……。あ、はい、こんばんは。

ん。どうしたっていうわけじゃないんだ……。

なんか……。ね。今、いや、いつもの事なんだけど……、
すつつつごく……。君が愛しくて……。つらいの。

うううう。すきすきすき……。会いたいよ……。

今すぐ会って、……。抱きしめてほしい。

君の体温、君の匂いを感じたい。君の全てを……。

……。うん……。こんな夜遅くに外出はできないから……。
だからせめて声だけ聴かせて。

ごめんね。こんなわがままでごめんね。困るよね。

私、悪い子なんだ。

君を困らせるなんて、ダメな事だって分かっているのに、
それでも自分を抑えきれないの。

……。私ね、最近変なんだよ。

どんどんどんどん君の事を好きになって。

どうすればいいのかなああ……。

って、こんな事言われても困っちゃうよね。

私だって、君に急に言われたら困るもん。

でもでも、伝えたい。この気持ちを全部伝えたいよ。

好き……。好きだよ。君が好き……。

本当に好きだから。君にもたくさん好きって言ってほしい……。

……。……ん……。……ん……。……んんん

ああ……。うん……。私も好き……。

幸せだ……。幸せ……。幸せ……。

あのね、私、本をよく読むんだけど……。あ、知ってるよね。

えっと、その、恋愛小説もたまに……。読むんだけど、

「好き」だとか「愛してる」だとか、

何か薄っぺらい言葉だなあって思ってたの。

ひとの感情ってさ、もっと複雑で、

一言二言の単語なんかじゃ言い表せられないものだ、って。

だからそういう言葉が出てくる作品、ちよっぴり嫌いだったんだ。

でもそれは偏見だったよ。単に私の人生経験が浅いから、

作者の想いや、登場人物の感情をうまく汲み取れなかっただけ。

たくさんの本を読んで、たくさんの物語を知って、

色々経験してきた気になってただけだね。

だって、君が。君を知ってから、君が私を好きになってくれたから、

「好き」も「愛してる」も、全部……。分かっちゃったもん。

この気持ちを表現するには、細々した言い回しとか必要なくて、

……。一番ストレートに伝わるよね。

ああ……。「好き」、「愛してる」……。素敵な言葉だな。

あんなに嫌っていた言葉が、口下手な私にとって救いになるなんて。

うふふ。君と一緒にいるだけで、

今まで知らなかったたくさんの言葉や想いが理解できる。

そんな気がするの。

愛して、愛されて、愛し合って……。

ひとつ、そうやって成長するんだなって実感したよ。

……大袈裟だって思うかもだけどさ、

君が私にかけてくれた言葉は、全部私の支えになってるんだよ。

辛いときは君の慰めを……嬉しいときは君の笑顔を……。

大好きで愛しくて……大切な君の顔……思い出すから。

……え？

うん。何もかも覚えてますから。

……君、たまに変な事言うでしょ。忘れてないよ？

弾みで言っちゃったんだろ？なあって言葉も覚えてるよ。

……うふふ♪ すけべ。

あ。……まーた喜んでるね。本当にむっつりさんなんだから。

学校にいるときの君はクールで知的な雰囲気なのにさ、

私とこうして電話したり、一緒に過ごすときの君……

まるで別人だよ。

その姿、私以外に見せた事ありますか？ ……ないよね？

……うん、そうだよ。

見せちゃダメだよ。(威圧)

うん。ダメ。絶対ダメ。

その姿は、私だけの君。分かるよね？ 分かってるよね？

……うんうん。よろしい。

私だって、こんな恥ずかしいお話をするの君だけなんだから。

金輪際、君以外には見せません。黒崎愛、神様に誓います。

いい？

君は私だけのもの。

私は君だけのもの。

はい、復唱。

………。

………。

よくできました♪

えらいえらい♪ うふふふ♪

君の言葉は絶対忘れないから、君も私の言葉忘れないでね。

私の事……いつまでも覚えていてほしい。お願い……。

……。ん……ありがとう♪

……あれ？ あ、ああ……！ もうこんな時間……。

こんな遅くまで付き合ってもらっちゃってごめんねっ。

毎度毎度、ダメだなあ私……。

いくら君が私のものとはいっても、

時間まで束縛だなんてよくないよねっ。

それじゃあ、おやすみ。

……。

………。ちゅっ♪

……あぁ……。

!! 鳴いた夜

もしもしっ。ああああえつとえつとえつと……

す、すごい雨だね!

あーあのね、なーんか急に君とお話したくなつとうえ……

ひあつ、か、囁んじやつた……!!

あああもう笑わないで!

えとえとっ、き、急に君とお話したくなつちやつたの!

怖い……じゃなくてっ、何だか寂しいなうってね!

だからその、(ゴロゴロピッシャーン) ひいううああ!?

ああああああ……!! ………………はっ。

お、おほん……。……は、はいはい? どうかしました?

んーん? 平気平気、大丈夫大丈夫。

……何さ、その反応。

君、私の事馬鹿にしてるでしょ。言わなくても分かるんだから。

どうせ君、「愛ってば、この歳になってまだ雷が怖いんだ」

とか思ってるんだよ。

言っておくけどそれ、勘違いだからね。

いくら私が怖がりだからって、

雷くらいでびくびく震えたりするわけ…… (ゴロゴロゴロ)

ふあっ……。! あ……。ち、ちがう。ちがうって言うてるでしょ!

大体さ、あんな大きな音がいきなり鳴ったら、

誰だって怖いと思うでしょ!

ほら、それに私、……不意打ちに弱いところあるし。……ね?

……ひ、開き直ってなんかないよ!

ううう……。もうっ!

はいはいっ、そうでーすっ。

私は高校生にもなって、雷に震え上がっちゃう臆病者ですよ。

……これで満足? ねえ満足?

もうっ、そんな酷い事ばかりするなら、私にも考えがあるんだから。

……すう……。……ごろごろごろごろろろろ! 雷様だぞ!

ぴっしやー……ろろろろろろろろろろろ!

君のおへそとつちやうぞろ!

……ふふふ。怖いでしょ? びくってなるでしょ?

……、……。ええっ! ならないの!? そんなあっ……

だって、ぴっしやーんだよ。ぴっ……。しやーん!

び……。ふふっ、

ふふっ。うふふふ。あはははは。

おかしいっ♪ あはは……。ふふふっ……。っあああ……

えほっ……。えほっ! あ、あ、ひいっ……

ツ、ツボに……。はいっ……。くふふふふっ……!

き、きかないでっ、こんなだらしないわらいかちゃ……

あああまた囁んじやつてあ……。ひあはははは! あははっ!

ちよ、ちよっとゴメンッ。

……………。

……………。

.....

はい、お待たせ。うん。大丈夫です。

いつもの冷静の私です。

私こそ、アルティメット冷静黒崎です。こんばんは。

.....くっ、くふふふっ.....あ、あるていめつと.....

わたし、あ、あたまるすぎるで.....あはははははっ.....

くふふふふ.....！

ああああもうダメえええええ！ 何やつもおかしいよお！

どおしよおお！

これから君と電話するたびにこうなっちゃったら私、私い！

き、君とお話できなくなっちゃうよお。いやだよお。

うううう助けてえええええ（ごろごろごろびっしやーん）

ひああっ！？

.....

あ、と、止まった。びっくりしたら本当に冷静になっちゃった。

.....ちよ、ちよっと。しゃっくりじゃないよしゃっくりじゃ。

うう.....それにしても宿敵の雷に助けられるなんて.....ぐぬぬ。

.....あ.....あのー。今日の事は忘れてね.....？

.....えっ？ あ、あ.....、

確かに昨日、私の言葉は忘れないでって言ったけどさ！

うううう。ちがうちがうちがう.....そういう意味じゃ.....

.....なッ.....ア、アルティメット冷静黒崎はもういないよ！

もう帰りました！

君と電話してるのは黒崎愛！ 君だけの愛ですからっ！

.....っ.....また恥ずかしい事言っちゃった.....。

どうはあ.....。

はああ、何だかお疲れモードの愛です.....。

.....あう、そうだね。話題を変えようか.....。

話題.....話題.....しりとりでもする？

.....うええ何その反応っ。いいじゃん別につ。

え、えつと.....しりとり.....り.....リード。

.....ど、ドッスン？ 何それ？ ていうか終わってるし！

もう、やっぱり意地悪なんだから.....。

.....え？ 外？

.....あ。本当だ。雨、上がったみたいだね。

寒いっ.....でも、星空が綺麗.....。

あんなに空を覆ってた雲がどこか行っちゃったんだ.....。

何だか不思議だなあ.....。

君もこの空を見てるんだ。住んでる場所は違うのに、

こうして同じ空を見てるんだ.....それも不思議だなあ.....。

.....。

ね。私、星がたくさん見える場所に行きたい。

うん。どこか遠くの.....山奥とか。灯りの少ない場所。

草はらに寝転がって、君と.....手を繋いで.....空を眺めていたい。

ふふ。.....ありがと♪

あ。でも君のご両親、

「君がすっかり運転できるまでひとを乗せちゃダメ」

って仰ってるんだよね。

本当にやさしいご両親だなあ……。やさしさ遺伝子を感じるよ……。

え？ あ、うん。そりゃあ、あの夏の日……

君の車じゃなくて、

電車で海に行く事になっちゃったのは残念だったね。

で、でも。あの日も言ったと思うけど、

電車のお出かけもとっても楽しかったよ？

そんな悲しそうにしないで大丈夫だって。

……。あの日からずっと気をかけてくれてたんだね。ありがとう。

ん？ ー。私の為に頑張ってくれるのはとても嬉しいんだけど、

でも……。もし事故とか起きちゃったら……。うう、心配です。

運転ってさ、どんなに自分が気をつけていても……

どうしようもない時だってあるもんね。

最近、物騒な事故のニュースが多くて怖いし……。

……。でも……。でもでも、そんなリスクとか怖さとか、

それがちつぽけに感じちゃうくらい、

君と同じひとときを過ごせるのは幸せだな……。♪

……。私をたくさん素敵なお場所に連れて行ってね……。えへへ♪

∞筒抜けラブハート

……。あらあ。もしもし。うふふ。こんばんは。

え？ いえいえ、わたくしいつも通りですよ？

……。あら。まさか前にもこんな事あったなんて、

そんな事思ってたっしやらないですわよね？

わたくし、黒崎愛ですわ。うふふ。

このようなお時間にお電話をお差し上げに、

ええと、なられて……。ええと……

うう……。くん、優雅ですわ。

……。ダメだ……。

はいはいそうですそうですよ。

君の大好きな磯貝さんっぽくしてみましたー。

……。本当に？

磯貝さんって私みたいな地味地味お婆けより、

ずっとずっと可憐で美しいからなあ……。

ふん。どうせ私には似合わない褒め言葉ですよーだ。

………。

このタイミングでそんな言葉連呼したって、無駄なんだから。

無駄だって。むだむだむだむだあ。むだあ。

無駄って言うてるでしょ。何でそう何回も言うの！

む、むだだっば……。ねえ！

……。あ、あう……。ひああああ……。…。

わ、私だつて……！

君は、すつごくかつこいいよ！ やさしいし、素敵だし、大好きだよっ！ すきすきすきすきっ！

ほら、ええと、ポイ捨てされた空き缶を拾った私の頭……なでなでしてくれまし！

あとは、えーとえーと……

そうだ、髪の毛伸ばしてる事にすぐ気づいてくれたし！君に色々な髪型を見せたくて、

頑張つて伸ばしてるって事は絶対内緒なんだけどね！

……ふぁ。

あああああぁあつ……わ、私は……何ておばかなんだろう。

……わ、笑わないでえええつ。

むううーっ！

も、もう知らないよ！ おばかつ！

あーあー眠いなー！ もう私おやすみしちゃうからねー。

ふーんだ。もう知りませーん。

ばいばーい。

……………。

……………ふう。

すうー……………

はあああ……………♪ 今日もたくさんお喋りしちゃった♪

うふふっ♪ すきすきすきすきっ♪ だいすきだよお♪

ああ……………でも髪の毛の事バレちゃったな……

バラしちゃったが正しいけど……。

で、でも、とっても喜んでくれてたよね……

ううう嬉しくてだらしない顔になっちゃうよう。

ふうー……………はあー……………。深呼吸、深呼吸……。

……ふう。

勢いで電話切っちゃったけど……………もつとお話したい……。

でも今からかけ直すのも迷惑かな……………どうしよう。

うーん……………。

あつ、良い事思いついたぞ。……………えとえと……………こほんつ……………

「愛、好きだよ……………」

「えつ、あ、う、うん♪ 私も好きだよ？」

「ものすごく好きだ……………」

「ああああ♪ わ、私もものすごく好きです……………」

「結婚しよう」

「ひえあつ！？ は、はいいつ……………結婚します♪」

……………ひあああああああああ♪

なななな何やってるんだろ私つ、

ぜんっぜん良い事思いついたじやなかった……………！

そんなそんなそんな、……………大胆な……………告白……………

だ、大体、学校でそんなお話できるわけないじゃん！

私つて本当におばかなんだなあ……………。

ううううだめだめだめ……………寝よう、早く寝よう……………

早く明日になって、あのひとに会いたい……………会いたい……………♪

……えと、よいしょ……ううう、今日も冷えるなあ……

あのひとに……抱きしめられながら寝たいよう……

……うふふ♪ ……好き……

ふあゝあ……んん……、……。

ねむれない……。寝る前に変な演劇やるんじゃない……。

……ん……？ ……んんっ！？

え、え、これ……通話切れて……なっ、っ、繋げっぱなし……！？

……も、もしもーし……？ 起きてますかー……？

……。寝息だ……。

ほっ、よかった……さっきの、聞かれてなかったよね……？

……ね……？

聞かれてたら私、私……、恥ずかしいなんてものじゃないよ……

死んじゃうよ……海のもくずになって、永遠に救われぬ魂に……

……。

でも寝息、やっぱり可愛いなあ……。

うふふふ♪ 添い寝しちやおうかなあ……。

……失礼しまーす……私と一緒に寝ましょ……？

……ナニコレ……電話してるだけなのに、

いつもと同じのはずなのにすっごくハズカシイ。

……。

気持ちよさそうに寝てるなあ。

……これって、あれかな。一晚中囁きかけたら、もっと私の事……

好きになってくれるかな。

……すーきーだーよー……♪ あーいーしーてーるーよおー……♪

君はあり、黒崎愛の事があり、もっともっと好きになるゝ。

黒崎愛の事しか考えられなくなあるゝ……。

…………。

……何やってるんだろ、私。独り言いつてるだけじゃん……。

テンションがちよっとおかしくなってるのかな……早く寝なきや。

何か目が冴えちやってるけど、……んん♪

安眠できる吐息が電話の向こうから聞こえるし……♪

うふふふ……♪

幸せな夢、見られそうだなあ……。

おやすみ、ダーリン……♪ もう君しか見えないよ……♪

▲時間の壁を越えたくて

どういう事かな。

……ああ、ごめんね。唐突すぎた。あまりに待ち遠しくてさ。

でも、よく考えなくても分かるでしょ？

どうして私が電話をかけたのか。

知らないとは言わせないよ。言ったら許さない。

………分らないの？ 本当に？

じゃあ教えてあげるよ。

……。

て・ん・こ・う・せ・い・さん。

そう。白水鳥子（しろみずとりこ）さん。

すつごく礼儀正しくて、とっても美人で……

沢田さんや磯貝さんよりも気品があつて、目が綺麗で。

ねえ。知ってるよ。

君が放課後、白水さんとなかよさそうに話してたの。

だってほら、今日は君がバイトの日だったから。

バイト先と帰る方向真逆だし、一緒に帰れないからさ、

声を一言かけようと思つたら……教室に君がいなくて。

下駄箱でさ……君と白水さんが……。

……ねえ。聞いている？

私ね。

君がいなくなった後、お話したんだよ。白水さんと。

話しかけられた……っていうのが正しいかな。

……君の幼馴染なんだってね。

十年ぶりの再会だって聞いたよ。小さい頃お引越して、

ご両親の都合でこっちに帰ってきたら、転校先に君がいた。

すごいね。奇跡みたい。

いや、それは別に良いよ。何もおかしい事なんてないし、

私だってそれくらいじゃ怒らないもん。

問題はね……？

白水さんは君の……許嫁……って……言つてた。

幼い頃からご両親同士の確約があつたんだって？

そしてそれは、彼女も君も……了承してた、と。

昔も、今も。

……。

………忘れられない。あの時の白水さんの微笑み……。

「あのひとは私のものですよ」って言葉。

なんで……。……ねえどういう事？ 私は？

君にとっては私は、何……？ 何なのかなあ……？

君が私にくれたプロポーズは……

……ん……？

でたらめって？ 何が……？

……えっ。許嫁の約束が……？

………そんなの、分からないじゃん。

あのひとが許嫁じゃないってどうやって証明するのさ。

うふふふ。そんなに慌てなくても大丈夫だよ。

君は何も悪くないもん。

悪いのは全部、……あのひとだから。あのひとだけだから……。

幼い頃のおぼろげな記憶を理由に、私から君を奪った……。

絶対に……許さない。……許さない……！

んー？　ねえ君、声が震えてるよ……？

うふ……あのね、私は神様でも仏様でもないんだよ。人間なの。

嫉妬する心を持った、人間。

だから……私……、

あのひとを……あのひとを………あのひとをッ！

……。

……。

……ぷっ。

ふふっ、あははははははは！

ごめんごめん。ちよつとからかったただだよ。びっくりした？

いやいや。いくら私がどんくさいって言ってもさ、

あの言葉が嘘って事くらいは分かるよ。

だって許嫁なんて……

昔の約束はともかく、今の君がそんなの承諾するわけないもん。

それに君のご両親だって、私の事は知ってるって言ってたもんね。

白水さんと婚約してるんだったら、

私とお付き合いなんでしないでしょ？

あははは。たまには君を驚かせちゃおうと思って、

ちよつぱり意地悪してみました♪　ごめんね、あははは。

いつも私に意地悪するからこういう事になるんだからね。

ふふふ。私の演技、すごかったでしょ？

でもこんな事、君を信頼してるからできるんだよ？

君以外のひとになって、怖くてできないしやりたくないもん。

君はきつと最後に笑ってくれると思ったから……やっちゃった♪

て、てへぺろ♪

……あ、でも……白水さんってさ。

あんなに清楚な雰囲気なのに、平気で嘘をつくんだね。

ひどいひとだよ、まったく。ひとは見かけによらないなあ。

……きつとあのひと、君の事を好きに違いないよ……。

隙あらば君を私から奪い取るつもりなんだ。

要注意人物、白水鳥子……と。しばらくは監視対象だね……。

というより、私より可愛いひとはみんな要注意人物！

ああつ。でもそれって……世界中の女のひと、

全員私の監視対象になっちゃう。そんなに見切れないよお。

うう、でも……君が私以外の子に移りしないように……

ちやあんと見張ってるからね？

うふふふ♪

♡地味でぼつちなクラスメイトは

もしもし。……私です、黒崎です。

あ、えつと……。いま、お忙しい……ですか？ 大丈夫……？

ごめん……。ごめんなさい。我慢しなきゃって思ったんですけど、

……どうしても、君の声が聴きたくて……。つい。

……つい、つい……。だ、大好きっ！

あはは……。何だか、あの日の事が急に懐かしくなって……。

まさか君から告白されるだなんて、本当に夢にも思わなかったよ。

ただのクラスメイトで、存在感もない私を見てくれていて、

好きになってくれて、愛してくれて……。ありがとう。

こんな私を見捨てないで……。ありがとう。

……。うん。自分でもそう思うよ。

……。

あのね。

聴いてほしい話があるの。

君と初めてお話したあの時から……。私は変わったんだ、って。

たまに考える事があってね。

君に出会わなかったら、私……。どうなってたんだろうって。

今とは正反対の生活を送って、誰とも関わりを持たないで、

何も成さないままの人生を終えるんだろうなって。

君には感謝しきれないんだ。

どんなにありがとって気持ちを伝えても、愛情を伝えても、

それじゃあダメなんだと思う。

君を幸せにしたい。君と一緒に幸せになりたい。

ちよつと傲慢かな……。？ ひとりよがりかもしれないけど。

……。……。もう、いつもいつも……。

君は私を考えてくれてるね。自分の人生を、自分の世界を、

私を中心に考えてくれてる……。

私……。決心したんだ。

もつともつと、もつともつと強く変わるんだって。

今の私は、君に依存して、君から愛される為に頑張って、

君の気を惹こうとしてるだけ。意識してたつもりはなかったけど、

これまでの私の事を思い返してみたら、そうだと思ったの。

無意識って、そのひとの本性なんだ。

私は無意識に、君を自分のものにしようと努力してたみたい。

そんなの最低だよ。そうやってお互いが絡み合っていても、

それは本物の愛とは呼べないんじゃないかって。

君が私の事を本当に好きでいてくれるのは分かってる。

君の愛は本物だと信じてる。それだけは絶対に。

でも、私の愛は……。黒崎愛の愛は本物なのかな。

好かれようと頑張る気持ちと、愛されたいという気持ちは……

本物の愛なのかな。

私、君に追いつきたいんだ。

君の背中じゃなくて、君の横顔を見たい。隣に並んでいたい。

いつだったっけ。

私、自分の大事な選択を君に任せようとした事があったよね。あれは、そうだ……君とこうして電話するようになった七日目。あの時も私は君に助けられた。

怖い男のひとたちから守ってもらった事もあったよね。

夏祭りのあの日……。

守られてばかりだよ。

私、君を守りたい。

君を支えたい。

依存する関係から脱出したい。

私、頑張るから。愛したいとか愛されたいとか、

そういう話じゃなくて。

君と同じ目線で世界を見たいの。

……。

君にどう思われてるんだろうとか、嫌われたらどうしようとか、

そういう事ばかり考えてたけど。

今はもう、変わったよ。

そんな受け身の生き方じゃなくて、君と……

……、……。

ん……。

ありがとう。私、自分の考えをまとめるのが苦手で……。

うまく伝わるか心配だったけど、でも、よかった。

君ってば、私のぐちゃぐちゃなお話を理解してくれるなんて、

天才だねっ。

さすがは私の旦那さん！ ……になるひとだよ！

えっとえっと、ちよっと暗くなっちゃったけどさ、

つまりは君の言った通り、

君と同じくらいのメンタルを持ってやる〜！ って事だから。

無駄に長くなっちゃったね……ごめんね。

……あは。そうやって、無駄じゃないって言ってくれるところ、

本当に好きだよ……♪

ん？ ええ？ 大丈夫だよ。君のお話も無駄話じゃないって。

君に関しては、私の辞書に無駄話という単語は載ってません。

全てが意味のある事で、全てが私の栄養になって……栄養？

うう、私の語彙力って、笑っちゃうくらい乏しいなあ……。

もっともおっとたくさんの本を読まなきゃ……。

……ありがとね……。

……ハッ。あ、い、今のは無意識です。無意識。

だからその、……私の本性というか、本音……。

……調子の良い事言ってるみたいになっちゃったね。

うう、君にはほんつとうにありがとって思ってるんだからあ。

愛を、私を……愛してくれて……

これからもずっと、よろしくね♪